

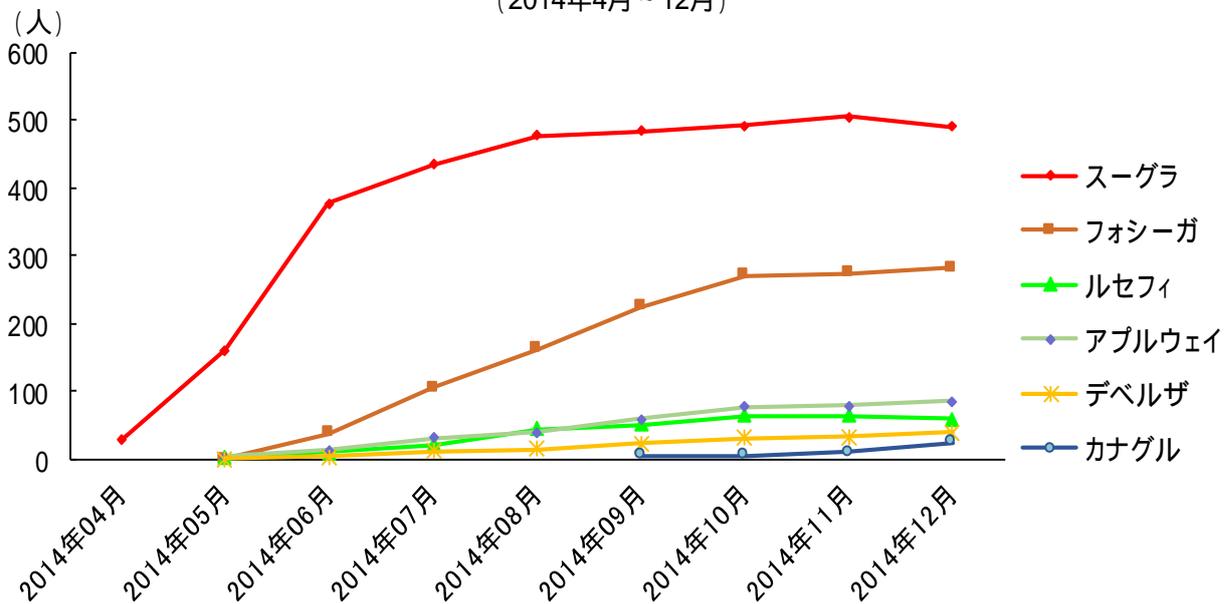


**【SGLT2阻害剤ではスーグラの処方患者数が最も多い結果に】**

前項でも述べたようにSGLT2阻害薬の処方患者数は伸び悩んでいます。次に2014年4月から順次発売されたSGLT2の6製品(スーグラ、フォシーガ、ルセフィ、アプルウェイ、デベルザ、カナグル)の処方患者数の推移をみてみます。

日本国内においてSGLT2阻害薬として初めて承認を得、4月に発売開始された2型糖尿病治療薬であるスーグラの処方患者数が最も多く、次に5月に発売されたフォシーガが続いています。同じく5月に発売されたアプルウェイ、デベルザ、9月に発売されたカナグルはいずれも発売当初から処方人数が100名を超える月がなく、伸び悩んでいるのが現状です。

**【SGLT2阻害剤処方推移】**  
(2014年4月～12月)



**【調査概要】**

調査手法: 当社が保有する「診療データベース」より抽出分析

調査対象: 二次利用の許諾を得た176病院の急性期病院(がん拠点病院77病院を含む)のうち、調査対象期間のデータがすべてそろっている124病院、約306万人

調査期間: 2014年4月～2014年12月